

議会だより ひらゝずみ

第177号

令和4年11月1日

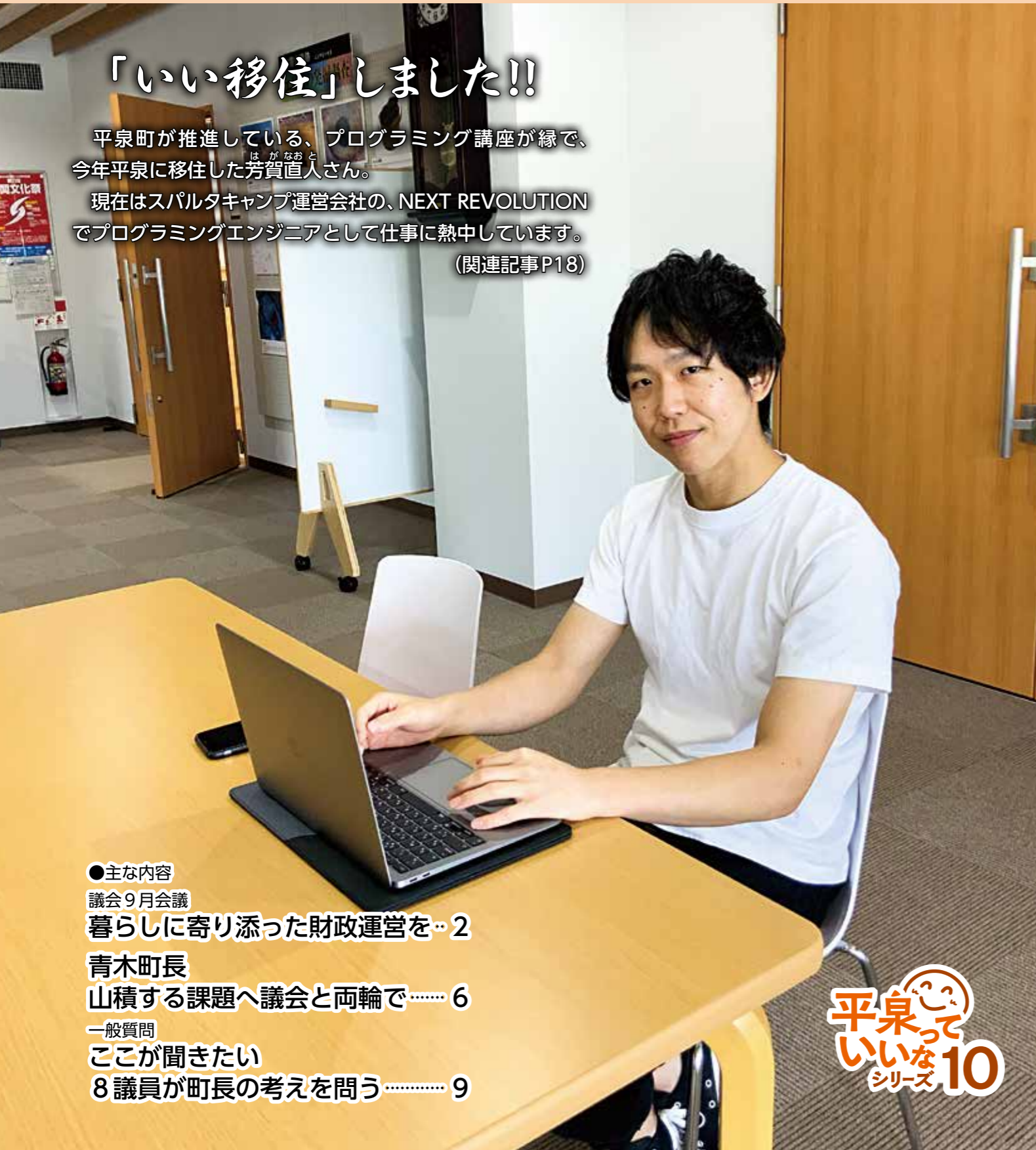
定例会9月会議

「いい移住」しました!!

平泉町が推進している、プログラミング講座が縁で、今年平泉に移住した芳賀直人さん。

現在はスパルタキャンプ運営会社の、NEXT REVOLUTIONでプログラミングエンジニアとして仕事に熱中しています。

(関連記事P18)



●主な内容

議会9月会議

暮らしに寄り添った財政運営を…2

青木町長

山積する課題へ議会と両輪で……6

一般質問

ここが聞きたい

8議員が町長の考えを問う……9



議会だよりひらゝずみ 177号 発行/平泉町議会 編集/議会広報編集特別委員会 平泉町平泉字志羅山45-2 TEL 0191-34-5595 HP <https://www.town.hiraizumi.iwate.jp>



シリーズ8

頑張る人

平泉のたからもの



平泉 GOLDEN KID'S ミニバススポーツ少年団

平泉 GOLDEN KID'S ミニバススポーツ少年団では、佐藤大輔コーチを含めた4人のコーチが週に3回(月・水・土)子どもたちの指導をしています。前身の平泉ミニバスから20年以上の歴史を持つ団体であり、今年の東北電力サマーチャレンジ2022岩手県ミニバス交流大会ではみごと優勝を果たしました。しかし、佐藤コーチは「勝敗よりも子どもたちにはスポーツを通じ、協調性と礼儀を身に付け、また、失敗を恐れない常にチャレンジをする気持ちを持ってほしい」と語っていました。「ときには子どもたちに厳しく接することもあります。がんばったときにはその何倍も褒めてあげています」とも語る佐藤コーチのその笑顔には、厳しさの中にも優しさがにじんでいました。



失敗を恐れずに

表紙の紹介

素敵なまちと人、平泉



群馬県館林市明和町生まれ、地元企業に就職し、その後カナダとアメリカに8ヶ月、名古屋の外資系会社を経て、個人事業を起こそうとしたところで、平泉町のスパルタキャンプを知りました。町と協力企業が一丸となって取り組んで頂き、

何から何まで至れり尽くせりで、なんて素敵なまちと人なんだろうと思つています。家にこもつての仕事なので、息抜きに自転車で買い物に出かけています。エピカはWiFiもあり、アパートからも近いので、よく利用しています。プログラミング講座、スパルタキャンプのすばらしさを、経験をもとに全国へ発信し、仕事に慣れてきたら、野球もやりたいと語る芳賀直人さんです。

あとがき

ウクライナ危機による物流停止により、輸入に依存している日本では、化学肥料の供給が難しくなっています。農業・化学肥料を

使わない有機農業を農水省は推進しています。が、収量減少や品質低下、労力がかかる等の問題があります。何があつても、心からだが健康であれば、なんとかなります。良い食事・運動・睡眠

を摂るよう努めていきたいものです。稲葉 正

編集スタッフ

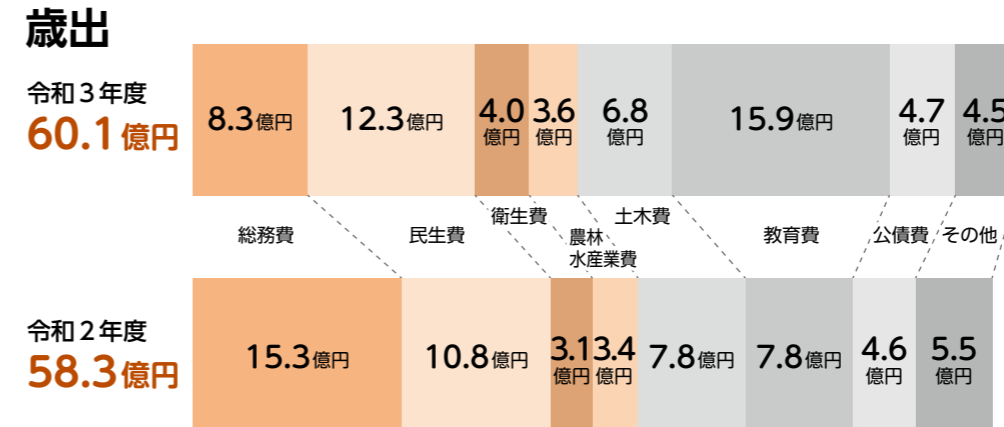
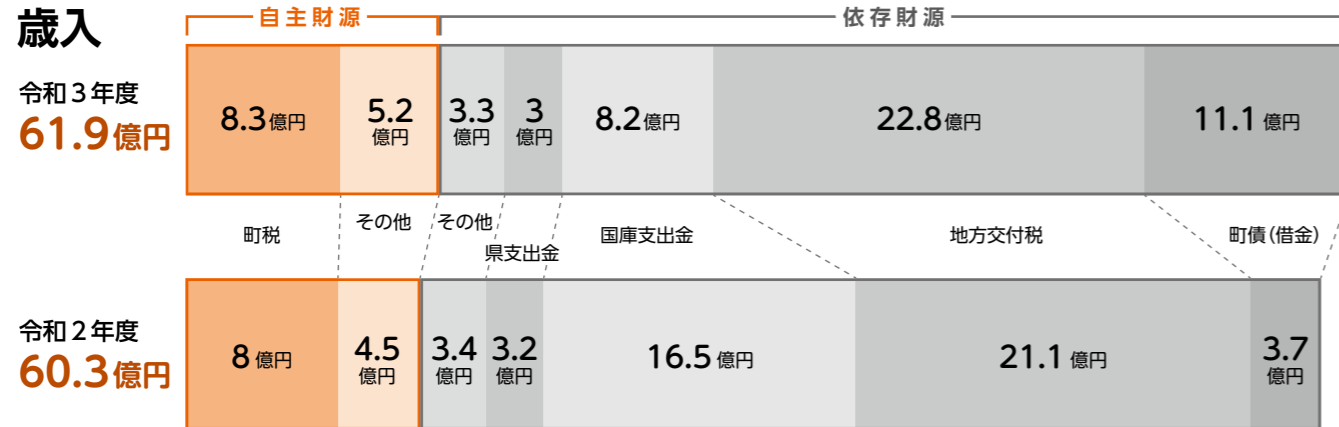
委員長	阿部 圭一
副委員長	稲葉 正
委員	升沢 博子
委員	氷室 裕史
委員	大友 仁子

町民の皆様のご意見・ご要望をお待ちしています。

議会だよりは再生紙を使用しています

暮らしに寄り添った

財政運営を



定例会9月会議

議会定例会9月会議は、7日から16日までの会期で開催し、令和3年度の決算審査では、特別会計を含む7会計の決算を認定しました。
また、3選を果たした青木町長が今後4年間の所信を表明し、一般質問では8名の議員が登壇し、町政課題・教育課題などについて、町の考えを正しました。

決算の詳細な内容は、「広報ひらいずみ10月号」をご覧ください。



ここに注目

平泉町のふるさと納税推移

平成29年度 214万円
平成30年度 280万円
令和元年度 1183万円
令和2年度 514万円



令和3年度は
976万円

財政調整基金(貯金)	年度間の財源の変動に備えて積み立てている基金。大規模災害の発生や、大幅な税収減などがある年度に取り崩しを行う。	令和3年度末残高 11億7258万円	令和2年度から 7097万円増加
地方債(借金)	町が公共施設整備などに必要な資金を、国や金融機関から調達する。	令和3年度末残高 52億4311万円	令和2年度から 6億6236万円増加
実質公債費比率	借金返済の割合。数値が高いほど他に充てるお金が必要になる。	令和3年度 9.1	令和2年度から 0.3ポイント悪化 令和2年度決算 県内では19町村中 33市町村中 11番目、21番目に高い
将来負担比率	将来負担する借金返済の割合。数値が高いほど他の財源に充てるお金が必要になる。	令和3年度 80.1	令和2年度から 16.2ポイント悪化 令和2年度決算 県内では19町村中 33市町村中 5番目、10番目に高い

監査委員の意見



鈴木清三監査委員
真筆光幸監査委員

- 時間外勤務について**
係や課の全体の課題として捉え、改善策に取り組むことが必要と考える。職員の健康管理が十分に配慮された環境下で事務が遂行されるよう、適切な業務管理に万全を期すこと。
- 持続可能な財政運営**
今後の事業、施策の展開には、投資効果を十分に見極めつつ、補助金等の精査も適時行い、健全な財政運営の維持に努めること。
- 内部統制システムの構築について**
マニュアルやチェックリストなどを文書化することが喫緊の課題であると思われる。また、災害発生時や感染症の感染拡大等により、通常の業務体制の構築が難しくなった場合に備え、業務継続計画も早期に策定すべきと考える。システムを構築すべく努めること。

主な事業

コロナ対策

- 子育て世帯等臨時特別支援事業（非課税世帯）・537世帯へ 5370万円
- 子育て世帯等臨時特別支援事業・524世帯へ 9780万円
- プレミアム付き商品券事業 3032万円
- まちはく促進事業 1049万円
- 中小企業等経営支援金支給 599万円



くらし・産業

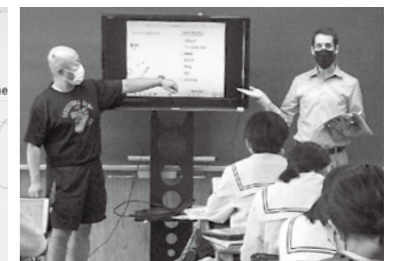
- 出産祝金(28世帯) 140万円
- 医療費助成 4468万円
- 公共交通事業
 - コミュニティバス運行・車両購入 721万円
 - 廃止路線代替バス運行補助 577万円
 - 巡回バス「るるん」支援金 50万円
- 次世代技術者養成・志業シェアハウス運営 1598万円
- 森林病虫害等駆除 1320万円
- 中山間地域等直接支払交付金(28集落) 6779万円
- 多面的機能支払交付金(25組織) 4646万円
- SIC整備事業関連 総事業費25.7億円
【平泉SIC事業8.1億円、駐車場4.2億円、祇園線12.9億円、佐野原祇園線0.5億円】(うち令和3年度支出2億6555万円)

教育

- 学習交流施設整備・総額 11億1595万円
【土地取得、補償金を除く】
(うち令和3年度支出 10億3343万円)
- 英語教育の充実
 - 外国語指導助手2名の配置 884万円
 - 英語推進員 188万円
 - 中学生英語検定料無料化 140万円



幼保小担当のマリア先生



中学校担当のアンドリュー先生

財政運営、将来への不安は

問 人口減少の中、長期的な視点に立った財政運営が必要ではないか。

答 財政調整基金は標準財政規模の15%を保ちつつ、行財政改革に取り組んでいく。



猪岡 須夫 委員

住宅改修への助成は

問 高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり推進事業補助金の概要は。

答 要介護認定を受けた方と身体障害者1～3級までの方を対象に40万円を上限とし、住居の段差の解消などの改修に助成を行った。



氷室 裕史 委員

予算執行の成果は

9月13日、14日に決算審査特別委員会を開催し、令和3年度の決算を集中審議しました。

すべての会計決算について、審査意見を付して、可決すべきものと決定しました。

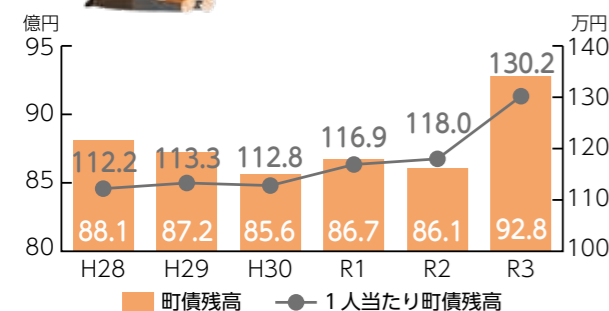


決算審査特別委員長
三枚山光裕



副委員長
高橋 伸二

町債(借金)の推移



町民の声



民泊 飛来住経営者
山田秀男さん、くに子さん
(志羅山)

まちはくキャンペーンはお客様に好評です。秋に数組のご予約を頂き、これこそキャンペーン効果です。リタイア後に始めたこの家業、やるほどに面白く、今では生き甲斐に。

婦人消防協力隊の処遇は

問 婦人消防協力隊活動補助金18万円が予算額より減額となった要因は。

答 コロナ禍において実施できなかった事業があったため減額となった。



大友 仁子 委員

道の駅の駐車台数不足は

問 休日など駐車場が足りないという声があるが、対策は。

答 道路向かいの、ガイダンスセンターの駐車場も利用可能であり、現状のままとする。

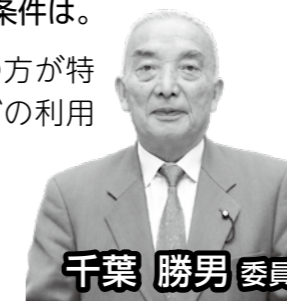


稲葉 正 委員

介護施設の状況は

問 施設に入れず自宅で介護を受けている待機者がある。施設入所の条件は。

答 要介護認定3以上の方が特別養護老人ホームなどの利用条件となっている。



千葉 勝男 委員

街路灯組合への補助金は

問 LED化されていない街路灯は毛越寺通りのみである。組合負担の電気料が高み、補助額を大きく超えるが対策は。

答 県道に設置されており、県との話し合いによる。今後の県との交渉に町も橋渡しをしたい。



升沢 博子 委員

町民の声



山田尚子さん
いちかちゃん
(鈴沢)

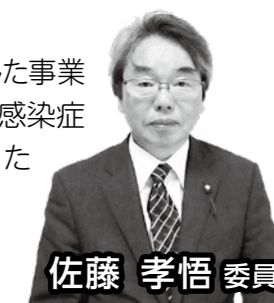
出産祝い金を頂きました

昨年出産し、祝い金を頂きました。3万円は商品券でしたが、できればベビー用品も買える商品券であればいいなと、思いました。

返還金の経緯は

問 老人クラブ活動促進事業補助金が返還となった経緯は。

答 老人クラブが当初計画した事業が、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったための返還である。



佐藤 孝悟 委員

審査意見

- 1 事業完了後に不用額が生じた場合は、速やかに減額補正を行うとともに、必要に応じて、更なる町民サービス向上のための補正予算措置を講じられたい。
- 2 審査の過程において指摘のあった事項及び意見を真摯に受け止め、次年度の予算編成及びその執行に反映されたい。
- 3 第6次総合計画に基づく、3年ごとの事業実施計画と予算編成の整合を期されたい。
- 4 事業・事務処理にあたっては、関係法規などに準拠し、適正な処理に努められたい。
- 5 水道事業における管路経年化率が高い中、漏水防止の予知保全に万全を期されたい。

貸付の相談内容は

問 なやみごと解決センターの貸付相談が増えているが、どのような内容か。

答 介護、地域社会、コロナ禍での生活相談、高騰する食料品代などの相談が多かった。



阿部 圭二 委員

地域防災力の強化は

問 近年、激甚災害が多発している。情報伝達と避難対策は。

答 防災無線の戸別受信状況と、緊急避難場所との通信状況を確認し、緊急事態に備える。



高橋 伸二 委員

※決算審査特別委員会は、高橋拓生議長、真筆光幸議選監査委員を除いた全議員で構成しています。

青木町長 山積する 課題へ議会と両輪で

答 指名委員会にて選定された防災関係の事業者による指名競争入札を行い、契約に至っている。3者が応札し、1者が辞退している。

問 これまで何度か消防車両を更新しているが、契約相手が同一である。契約方式は。

答 は 消防車両入札の経緯

議案第36号

問 他自治体では防犯カメラの設置について、ガイドラインを設けている例がほとんどである。平泉では地域安全条例に基づく対応を検討したい。

答 防犯カメラの設置や夜間閉鎖など、管理者側が地域住民の安全のために相応の対応策を講じるべきではないか。

問 S I C 駐車場の安全管理は

議案第35号

令和4年度補正予算

会 計	補正額	補正後予算額
一般会計(第5号)	2億4296万円	51億931万円
国民健康保険会計(第1号)	1055万円	8億1815万円
後期高齢者医療会計(第1号)	75万円	9715万円
健康福祉交流館会計(第1号)	167万円	7657万円
町営駐車場会計(第2号)	497万円	5822万円
水道事業会計(第1号)	収益的支出	△205万円
	資本的収入	1673万円
		1億5739万円
		3億4098万円

※単位未満を四捨五入しています。

討 論

反対です
猪岡議員

責任者が即答できない管理体制、現行の問題に向き合わず、経費の詳細を煮詰めようとしない3年度の決算は町民の思いに答えていない。

認定
第1号

一般会計
決 算

次世代技術者養成事業や学習交流施設など投資の効果が期待できる。慎重な財政運営を求め賛成する。

賛成です
升沢議員

決算は、一定の議会意思が反映された3年度予算の成果の現れである。4年度以降の行政執行に3年度決算が活かされることを望む。

賛成です
高橋(伸)議員

反対です
猪岡議員

一般会計からの繰り入れが続き、総額は3億5000万円にも上る。徹底した経費の見直し、外部委託あるいは売却をすべきである。

認定
第4号

健康福祉
交流館
会計決算

町民の健康増進施設として、介護との連携も視野に、改善策に期待をして賛成する。

賛成です
升沢議員

当町もようやく重い腰を上げ、経営分析を依頼するに至った。町長の健康福祉交流館への思いをまだ見守るべきではないか。

賛成です
高橋(伸)議員

問 道の駅の鮮魚販売用冷蔵庫購入費68万円の目的は。

答 長年の課題であった海産物の販売を目的としたものである。道の駅と県内沿岸の海産物販売事業者との協議を経て段階的に販売することになった。

議案第38号
海産物の販売へ

町長所信表明

「町民総参加でチーム平泉を進める」

8つの施策

- ①新型コロナウイルス感染症との共存
- ②魅力のある仕事・働く場の創出
- ③平泉の魅力を新たな流れに結び付ける
- ④暮らしやすい安全・安心なまちづくり
- ⑤教育の振興
- ⑥健康で安心な暮らしを守る
- ⑦若者・女性・子育て世代の支援
- ⑧世界文化遺産の保存と活用



選 挙

法律に基づき、議会において選挙を行い、次の方々が当選しました。任期は、令和4年9月30日から令和8年9月29日までです。

選挙管理委員

- 佐藤 勅司さん (平泉町長島字月館)
- 沖山 道子さん (平泉町平泉字志羅山)
- 千葉 勝郎さん (平泉町長島字山王)
- 千葉 由美さん (平泉町平泉字鈴沢)



選挙管理委員補充員

- ①佐々木正明さん (平泉町長島字生江田)
- ②志羅山登美子さん (平泉町平泉字毛越)
- ③菅原 幹成さん (平泉町平泉字瀬原)
- ④千葉 佳巳さん (平泉町長島字中村)

※補充員は、選挙管理委員に欠員がある場合に、名簿の順に委員に就任します。丸印の番号は名簿掲載順です。

ここが聞きたい!

一般質問で
町の考えを問う

一般質問は、議員が執行機関である町長などに対し、事業の状況や将来の方針などの諸問題について問うものです。
平泉町では一人60分以内の制限時間で質問を行います。

議案内容と審議結果

賛否のあった議案以外は全員賛成で可決しています。

議会定例会 9月会議 (9月7日～16日)

議案番号	議案及び内容	関連ページ
条例制定及び一部改正		
第34号	職員の育児休業等に関する条例 (職員の育児休業に係る緩和等をするための一部改正)	
第35号	平泉スマートインターチェンジ駐車場 トイレ設置条例 (町民及び旅行者の便に供するための トイレ設置及び管理のための条例制定)	7
財産取得、剰余金の処分		
第36号	財産の取得に関し議決を求めること について (小型動力ポンプ付積載車1台 の取得。797万5000円)	7
第37号	令和3年度水道事業会計未処分利益剰 余金の処分 (剰余金3914万6124円の 処分。資本金へ1500万円、減債積立へ 400万円、建設改良積立に1600万円、 残余を繰り越し)	
令和3年度決算認定		
第1号 ～7号	令和3年度一般会計、特別会計、下水 道事業会計、水道会計決算の認定	2～5
報告		
第4号	損害賠償の額の決定に関する専決処分 の報告 (平泉小学校周辺草刈り作業実 施の際の自動車破損に伴う損害賠償の 和解、金額9万1366円)	
第5号	継続費精算報告書 (社会教育施設整備費の精算報告。令和 元年度～3年度11億1595万円)	
第6号	健全化判断比率及び資金不足比率の報告	3

議案番号	議案及び内容	関連ページ
令和4年度補正予算		
第38号	一般会計補正予算 (第5号) (新型コロナウイルス対策経費1億1111 万円、ワクチン接種6136万円、財政調 整基金への積立8896万円、水道事業へ の出資金2743万円)	7
第39号	国民健康保険特別会計補正予算(第1号) (保険給付費318万円、基金積立680 万円)	7
第40号	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) (保険料75万円)	7
第41号	健康福祉交流館特別会計補正予算(第1号) (光熱水費等追加)	7
第42号	町営駐車場特別会計補正予算 (第2号) (人件費及び整備基金へ積立)	7
第43号	水道事業会計補正予算 (第1号) (一般会計からの出資金など)	7
人事案件		
同意 第2号	固定資産評価審査委員 千葉昭夫さん (再任)	
同意第3 ～5号	懲戒審査委員 佐藤敏雄さん、小室光子さん 岩渕省一さん (再任)	
選挙		
第1号	選挙管理委員 4名	6
第2号	選挙管理委員補充員 4名	6

P10 千葉 勝男 議員

- ①青木町長の政治姿勢
- ②農業問題
- ③鳥獣被害対策
- ④新型コロナウイルス感染
とその課題



P14 大友 仁子 議員

- ①インフルエンザ予防接種
- ②小学校、中学校のがん教育



P11 高橋 伸二 議員

- ①現状を見据えた「新たな
鳥獣被害対策」
- ②「非核・平和都市宣言」を
踏まえた「平和祈念事業」



P15 三枚山光裕 議員

- ①新型コロナウイルス感染
症への対策
- ②国民健康保険税の引き下げ
- ③平泉中学校の給食搬入口
の雪などの対策



P12 氷室 裕史 議員

- ①3期目を迎えた町長の具
体的な施政方針



P16 猪岡 須夫 議員

- ①給食費への補助
- ②給付型奨学金制度
- ③定年延長



P13 升沢 博子 議員

- ①新型コロナウイルス感染
症蔓延下の防災
- ②コミュニティ・スクールの
導入
- ③学習交流施設の運営



P17 阿部 圭二 議員

- ①子育て支援策
- ②マスク着用による健康へ
の影響



賛否のあった議題

(賛成：○、反対：×)

議案	議員名											賛 成	反 対	採 決 結 果	
	大友 仁子	稲葉 正	猪岡 須夫	氷室 裕史	阿部 圭二	三枚山 光裕	真筆 光幸	高橋 伸二	佐藤 孝悟	千葉 勝男	升沢 博子				高橋 拓生
議案第38号 一般会計補正予算 (第5号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	認定
議案第41号 健康福祉交流館特別会計補正予算 (第1号)	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	認定
認定第1号 一般会計決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決
認定第4号 健康福祉交流館特別会計決算認定	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10	1	可決

※採決に議長は参加していません。

議長交際費を公表します

7月分 4000円 (富岡八幡宮神輿総代連合会
との交流)

8月分～9月 支出はありません

※詳細はHPをご覧ください。



議会定例会 12月会議のお知らせ

12月8日(木)～15日(木)
開催予定

※本会議はインターネットで生中継しています。



※掲載している内容は、質問者自身が要約し広報委員が校正したものです。
※全文は、議会ホームページでご覧いただけます。





議員 室裕史



既存住民の住環境へのフォローは

答 バリアフリーや省エネ等の質向上を考えている

問 県外からの移住者と同居に既存の平泉町民の住環境へのフォローをどう考えているか。

町長

木造住宅耐震改修工事助成事業、住宅用新エネルギー設備導入促進費補助事業をはじめ、既存住宅に対するフォローは多岐にわたるが、町民の住環境に対する潜在需要は高いものと考えられる。6月下旬に平泉建築組合と懇談し課題の把握に努めている。

問

建築組合との懇談で把握できた課題にはどのようなものがあるか。

建設水道課長

住環境の改善に関しては、バリアフリー補助や省エネルギー化を図る補助に絞るべきではないかという意見が

あった。引き続き懇談を重ねていく予定である。

建設水道課長 これまで補助を受けた道事業は一般会計からの繰り入れで運営しているため現時点では、下水道事業での補助は難しい。

今後の大型事業への展望は

答 工業団地を検討する

問

町長は2期8年の中でスマートインターチェンジ、道の駅、浄土の館、学習交流施設工ピカを実現させてきたが、今後の大型事業についての展望は。

問

都市圏から地方へ本社や本社機能を移転する流れがある。工業団地の造成にこだわらず、小規模な土地も活用可能ではないか。

問

これまで整備優先順位2番であった体育施設整備の実現可能性は。

総務課長

今後の財政計画を考慮したうえで検討するが、現段階では財政計画には入っていない。また、早急に入れられるような状況ではない。

まちづくり推進課長

県南地域で半導体、自動車産業の進出が続き、これらに特化して誘致をしていきたい。工業団地以外の土



SIC周辺の拠点になり得るか

平成24年には(仮)平泉町立平泉体育館建設基本計画(案)があったが、実現はまだまだ先のようである。

議員のひとりごと



議員 博子



コミュニティ・スクール導入の目的は

答 地域全体で平泉の子どもを育て

問 今年度、町内3校にコミュニティ・スクールを導入した。今、なぜコミュニティ・スクールなのか。

教育長

コミュニティの希薄化、IT化が進む中の課題など学校を取り巻く問題の多様化から、学校を核とした地域をしっかりと作らなければならないという流れができた。

問

どのようなコミュニティ・スクールを目指しているのか。

教育長

これまで様々な地域との共同活動に取り組んで成果を上げています。今後地域全体で平泉の子どもを育て、という目標で取り組んでいく。

問

高齢化などにより、学校の環境整備など、地域でやっていたことができなくなる。そこで学校と地域が協力し合えるようになればいいのでは。

教育長

敷居を下げて、交流できる雰囲気を作る必要がある。大切なのは学校



これが正にCSで取り組む課題 学校周辺の草刈り作業

自宅療養者の避難対応は

答 ガイドラインに基づいて対応する



令和3年に改訂した「防災マップ」

自治体の防災担当は自宅療養者の把握はどこまで行えるのか。

問

総務課長 個人情報の関係から、人数以外の情報は把握していない。緊急時の対応については、事前に感染症対策と併せて避難のための情報を予め十分周知しておく必要がある。

問

自治体版業務継続計画、いわゆるBCPは作成しているのか。

総務課長

職員の行動マニュアルは作成しているが、BCPとして明文化する必要があるので作成に取り組む考えである。

町長

新型コロナウイルス感染者など自宅療養者の災害時避難対応指針はあるのか。

「防災マップ」に記載し

その他の質問

学習交流施設の運営



議員 大友 仁子

インフルエンザ予防接種全額助成を

答 現在の費用助成を継続



日本感染症学会理事の迎寛教授は、「今年の冬はインフルエンザとコロナの同時流行が懸念される。過去2年間のインフルエンザ集団免疫の低下のためである」と語っている。町民へのインフルエンザ予防接種の周知方法は。

町長 今年度も広報や町ホームページで周知する。



現在1歳から15歳、65歳以上の方へ助成しているが、対象者全員に接種支援券を送付する考えはないか。

保健センター 高齢者の方々は、介護予防事業や地区に出向いて話をする。小児のインフルエンザは、子育て支援事業や子育て応援ナビのアプリで情報発信している。また、学校へは教育委員会とおして周知を図っていくので、個別通知は行わない。

町長 助成している方々へ全額を助成する考えはないか。

町長 予防接種の対象者は自らの意思と責任で接種を行うこととなり、全額助成は難しい。

教育長 小学校では日常生活の中で基本的な生活習慣を身に付けることを学び、中学校では、保健体育の授業の中でがんとは何か、その要因と予防方法、健康診断や

小、中学校のがん教育は

答 正しい知識を身に付ける

厚生労働省は、がんは死因の第1位で、年間35万人が亡くなり、国民の約2人に1人ががんにかかり、3人に1人が死亡すると推計している。文科科学省のがん教育に関する検討委員会に、根本的な視点として、「命の大切さを育むがん教育」と明記された。現在、学校ではがん教育についてどのように行われているか。

町長 がん教育の授業を行った後で、児童に対してアンケート調査などは行っているか。

教育次長 児童から「がん検診

教育長 昨年度、平泉小学校6年生を対象に学校薬剤師を講師に招き、がんとは何かをテーマに講演会を開催した。

がん検診による早期発見の重要性などを学んでいる。

医療従事者やがんの経験者などを講師に招いて、重層的な教育を実施する考えはないか。

教育長 昨年度、平泉小学校6年生を対象に学校薬剤師を講師に招き、がんとは何かをテーマに講演会を開催した。

自治体のインフルエンザ予防ワクチン接種費用支援に地方創生臨時交付金を活用したらどうでしょうか？ 何事も予防が一番です。

議員のひとりごと

感染防止の徹底が必要では

答 ワクチン接種の促進に努める

町内でも陽性者が増えてきている。若い世代のワクチン接種の促進や、感染防止の徹底が必要ではないか。

町長 若年者は、使用できるワクチンの制約や副反応症状などから、接種を控える方もいる。今後とも新型コロナウイルスの有効性や副反応などについて広報やホームページで周知する。



議員 三枚 山光 裕



感染が拡大した場合は、職員の欠勤等も予想される。事前に4割程度欠勤した場合においても、継続する業務を整理し、組織全体として必要な業務体制を整備している。業務継続の優先順位を4つに分類し、危機的状況下に置かれた場合でも、重要な業務が継続できるよう計画策



「今年は稲丈が長い」と話し、豊作を願って稲刈り中の農家

定し、対応している。

町長 秋肥と比べ春肥の予約が始まっている。さらなる価格高騰が懸念されるが、対策は。

町長 国において、8月に「肥料価格高騰対策事業」を創設した。令和4年6月から10月の秋肥、及び令和4年11月から令和5年5月までの春肥の購入について、肥料コスト上昇分の7割を支援するものである。町では、申請方法や申請スケジュールなどを町内農家に知らせたい。

国民健康保険税の引き下げは

答 県の動向を踏まえて慎重に検討する

町長 今後の県内保険料水準の統一に伴う賦課方式の変更による納付金の増加が予想される。国保運営の財政面における歳出超過傾向が見込まれることから、現段階においては国保税の引き下げについては難しい。今後の県の動向も踏まえながら、慎重に検討を進める。

その他の質問 平泉中学校の給食搬入口の雪などの対策

町長 都道府県統一の保険料の見直しは、国保世帯が多い商店や農家などは、新型コロナウイルス感染症による売り上げ減少が続く、さらに物価高騰が追い打ちをかけている。今こそ国保税の引き下げを判断すべきではないか。

持ち回りとはいえ、最初で最後となる決算審査特別委員会の委員長。質疑はできないが、決算書を見ながらメモも取ることは同じ。質疑・答弁の「指名」が増えた分忙しい2日間だったなあ。

議員のひとりごと



議員 須夫 猪岡

問 学校給食費への補助は。

問 幼稚園、保育所の給食費は。

奨学金制度の周知は十分か

答 今後、周知方法を検討する

問 最終決裁者は、誰か。

教育次長 町長である。

その他の質問
・定年延長

教育長 小学校では、今年度食材が前年度比で6%上昇した。相当額を補助金とし給付することで保護者の負担を増やすことなく給食を提供する。幼保の給食については、今後の社会情勢を勘案し、状況に応じ検討する。

町民福祉課長 経費を含めて、月4500円である。

問 ご飯を持参し忘れた際には、1合のコメを請求しているか。

幼稚園長 請求しているが、必要量について検討する。

問 給付型奨学金の制度設計が必要ではないか。

町長 一関信金が創設した高校生対象の「希望のまち基金」がある。一関、平泉に就職すると、返済免除、進学すると、返済の猶予がある。

異なる。当事者や保護者に制度が知られていないのではないか。

教育次長 広報やホームページで伝えていくが、今後周知方法について検討する。

問 数年前に償還金の免除の事案が発生しながら、未だに正当な処理をしていないと監査委員から指摘されているが。

教育次長 平成29年3月に奨学金償還免除事案が発生し、金額は46万8000円である。処理をせず、指摘を受けた。

中学校の給食費対策が取り残されている。子ども子育てに優しい町に長期債務がのしかかる。

議員のひとりごと



値上がりは給食直撃

問 町の育英資金貸付制度は高校から大学生まで多様な利用ができることあるが、活用者は年度ごと

教育長 町には育英資金貸付制度がある。経済的理由により就学が困難な高校生以上の学生を支援し、通学経費にあてることも可能である。

学校給食の段階的無償化は

答 社会情勢や県内の事例から研究

問 幼稚園、保育所の完全無償化の実施が必要である。完全無償化の考えはないか。

町長 少子化対策は喫緊の課題であるが、新たな財源の確保が必要となる。幼児教育・保育の質量の維持向上と多様化するサービスの提供に傾注し、県の少子化や子育ての支援政策に注視

しながら取り組んでいく。

教育長 令和元年10月から保育料が無償化している。給食費等は材料の費用等を勘案して定めている。

問 学校給食の無償化を段階的に進める考えはないか。

教育長 学校給食はより児童・生徒の保護者が負担するものである。生活保護制度や就学援助制度により学校給食費の補助を行っている。

なるため財源確保が課題である。社会情勢や県内市町村の事例の観点から研究・議論していく。



議員 圭二 阿部

子育ての負担軽減は重要と認識しているが、無償の場合、毎年数千円の費用負担と



少子化対策としての給食費無償化を

保育所等のマスク着用は

答 子どもたちに最善の方法で対応



マスク着用の安全性は

クを外すよう小・中学校に指導している。今後も場面に応じた基本的な感染対策を講じていく。

問 保育所、幼稚園ではマスクをしていないがなぜか。

幼稚園長 マスク着用は求めていない。マスクの着用、管理は難しい。子どもの体調管理を考慮して着用せず生活している。子どもたちの命を守る最善の方法で対応している。

教育長 学校生活に於ける児童・生徒のマスク着用は、基本的な感染防止対策で、マスク着用や手指消毒、うがいや換気等により一定の効果があると認識している。体育の授業、部活動、登下校等の際には、熱中症対策を優先してマ

問 新型コロナウイルス感染症防止対策のマスク着用で「許容できないレベルの二酸化炭素濃度の検出」、「免疫機能が脆弱になり、感染症の増加」、「呼吸機能の低下」、「酸

呼吸機能の低下」、「酸

小・中学校でも、子どもたちのことを考え、保護者も入って話し合い、最善の方法でマスクをどうするかを検討してほしい。

議員のひとりごと